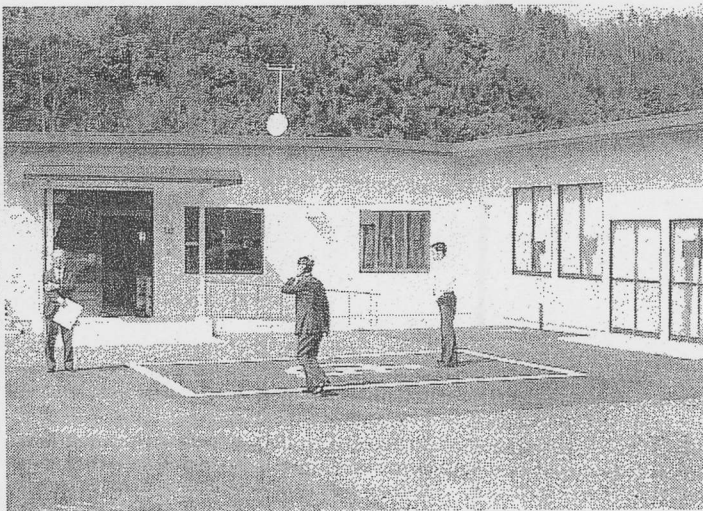


2000年(平成12年)4月14日 金 曜 日

近くに念願の分場

授産施設「みずなぎ学園」に完成

通所者増に対応へ



完成したみずなぎ学園のワークホーム

知的障害者の授産施設「みずなぎ学園」が舞鶴市鹿原に建設していた通所施設の分場「ワークホームみずなぎ」が完成、十三日、しゅん工式が行われた。

同学園の通所と入所の授産施設では、それぞれ六十三人と六十人が生活訓練を兼ねた作業を通じて社会復帰を目指している。定員いっぱいまで通所希望者も増え続けており、分場を既存施設の近くに建てた。

完成した分場は敷地約千二百四十平方メートルで、軽量鉄骨造り平屋建て三百五十八平方メートル。作業場と事務室、キッチン、食堂などがある。定員十九人。総事業費約四千五百五十万円のうち、中央

競馬社会福祉財団が約二千三百八十万円、市が千六十万円を補助した。

式には同学園や市の関係者ら約六十人が出席。多田卓夫理事長が「多くの方々の支援で、落ち着いた環境に明るい施設が完成した。地域に開かれた施設にした栽培なども行う予定。

いこ式辞。園生代表が「この場を活用し、楽しく明るく過ごしていきます」とあいさつした。

同施設では今月初めから、重度や高齢の知的障害者十三人がクッキーを製造しており、将来はハーブの栽培なども行う予定。